

大学や地域を超えて仲間ができる!!

学生生活動報告会

「ガクマチEXPO」

3月21日(火・祝)、町田市生涯学習センターに、町田市や近隣地域で活動するさまざまな学生団体が集結。団体の活動PRや地域交流を行うイベント「ガクマチEXPO」が行われました。

学生たちのアイデアがあふれる、交流が深まる

2013年に始まり今回で10回目を迎えた「ガクマチEXPO」は、町田市などでまちづくりや復興支援、教育などをテーマに地域活動を行う11の学生団体が参加。今回は、学生たちがミーティングを重ねて、地域の参加者がより楽しめるように“学生による授業”という形式の企画に決定。会場を学校に見立て、時間割を作り、参加者が好きな授業(プログラム)を選べる仕組みを作りました。多くのプログラムでワークショップや

ゲームを取り入れたことで、参加者は各テーマを体感し“自分ごと”として考えることができ、世代を超えて参加者同士の意見交換も活発に行われました。



地球環境を学べるカードゲームを楽しむ参加者



【参加団体】桜美林大学祭実行委員会/二十祭まちだ実行委員会/NPO法人 SoEla/玉川大学 太田ゼミ/学生団体PJT/さがまち学生Club/八王子学生委員会/フードバンクサークル はらぺこあおむし/和光大学 菅野ゼミ/桜美林大学 オールラウンド・アートサークル はやお/法政大学 多摩ボランティアセンター

PICK UP 1

陸前高田のりんごジュースからフェアトレードを考える

玉川大学リベラルアーツ学部 太田ゼミ



東日本大震災以来、岩手県陸前高田市と交流を続け、現地の魅力発信を行っている太田ゼミ。プログラムでは同市の特産品「米崎りんご」のジュースと市販のりんごジュースを飲み比べし、学生たちは「どちらを飲みますか?」と



商品が生まれる背景に関心をもつことの大切さを学んだ

問いかけます。米崎りんごのジュースは生産者の顔が見える商品である一方、市販のジュースの生産者はラベルを見ても分かりません。前者は生産者と消費者をつなぐ「地産地消」に貢献でき、「フェアトレード」の“生産者を支援する”という考え

PICK UP 2

学生と一緒に挑戦! 面白いお祭りを作ってみよう

桜美林大学祭実行委員会

桜美林大学祭の企画・運営を行う団体が「地域の人たちが参加したくなる文化祭のアイデア」を皆で考えるプログラムを実施。参加者からは「国際色豊かな音



アイデアを書き出し、グループのメンバーと意見交換

楽フェス」「町内会の方々と一緒にやれば地域活性につながる」など多彩なアイデア

方にも通じます。「地産地消とフェアトレードの理念は似ている」と学生たち。陸前高田の商品の魅力を地域の人たちにPRできた貴重な時間にもなりました。



ファシリテーターを務めた玉川大学4年の大河原美空さん、名取柚里さん、佐藤ひかりさん

アが飛び出します。ファシリテーターを務めた長谷川さんは「今後に活かしたいアイデアがたくさんあった。ガクマチEXPOは企画者と参加者の距離が近くなり、関係性が築けるところが魅力です!」と笑顔で話してくれました。



桜美林大学3年 長谷川康希さん

Interview

学生と地域がつながり新しいアクションを

町田市生涯学習部生涯学習センター長



西久保 陽子さん

ガクマチEXPOは、東日本大震災のボランティア活動をしている学生たちが各自の活動を報告する場として始まりましたが、途中から限定せず、学生団体の活動を幅広く発表する場になりました。毎年、学生たちは自分たちの活動をどう発表したら関心をもって聞いてもらえるのかと真剣に考えてくれています。また、近年はまちづくりや環境問題などSDGsに関することが活動や発表に自然に入っていることが多く、SDGsを当たり前のこととして考えている様子が印象的です。

私たちは、ガクマチEXPOをきっかけに、学生と地域がつながり新しいアクションが起きることを期待しています。学生たちには、大学内だけでなく他の大学や地域の方たちとの関係性を築いてほしいです。そして、これからも町田市に住み続けてほしいのはもちろんですが、この先、就職などで一旦離れても「またこの街に戻りたい」と思ってもらえるような素晴らしい経験をたくさん積んでいただきたいと思っています。

【お問い合わせ先】
町田市 生涯学習部 生涯学習センター
Tel.042-728-0071